

## なでしこ

合い言葉:人にやさしく 学び・かわり きたえる子



## 東京オリンピック 失敗を恐れずポジティブに生きることの大切さ

この夏、東京五輪が開催されました。開催にあたっては賛否両論がありましたが、テレビ画面を通して観る鍛え抜かれたアスリートの姿からは、大きな感動をもらいました。その中でも、今大会から正式種目になったスケートボードは、他の競技とは一味違うスポーツの素晴らしさを届けてくれました。

女子の決勝では、四十住さくら選手が金メダルを獲得し、12歳11か月の開心那選手が銀メダルで日本人史上最年少メダリストに輝きました。四十住さくら選手は、1日最大10時間の練習で技を磨いたそうです。大会前のインタビューでは、「負けたら負けただ、いいかなと思っ**ています**」「**これ以上滑れないぐらい滑っているから、もう後悔ないんですよ**」と話していました。

メダル本命と目されていた岡本碧優選手は大技「540」を成功させましたが、最後のトリックをした着地で失敗し、涙を見せて落胆しました。うずくまる岡本選手に他国の選手たちが駆け寄り、失意の岡本選手を励まして笑顔に変え、さらに担ぎ上げてパフォーマンスを称えました。

五輪公式インスタグラムはその瞬間を「最高のスポーツマンシップ」とつづり、選手たちを描いた絵を投稿しました。さらに「世界一のパークスケーター、岡本碧優は最後の着地に失敗してわずかにメダルに届かなかった。しかし、競争相手たちは彼女を担ぎ上げ、元気付けた」と投稿しました。

この投稿に対して、銅メダルを獲得した英国代表のスカイ・ブラウン選手が「スケーターであることを誇りに思う!」とコメントしたほか、「最高の瞬間だった!」「世界のお手本」「支え合う精神に感動した」「人間としてもスケーターとしても素晴らしい」などの声が寄せられました。競技中はライバル同士ながら、お互いを称え合っているこの写真に

「こんなに優しい思いやりと戦う者同士でありながらも愛があることに泣きました」

「オリンピックには魔物がいるというけど、ここには笑顔の眩しい天使たちしかいなかった...」という声が集まっていました。他の競技では見られない爽やかな感動がありましたね。



銅メダルを取ったイギリス代表のスカイ・ブラウン選手の言葉にも考えさせられました。ブラウン選手はお母さんが日本人で、一番お気に入りの食事は、「卵かけご飯に納豆とオクラとキムチを混ぜ合わせたもの」だそうです。

ブラウン選手は、昨年5月に、練習中に空中でバランスを崩し、4メートルほどの高さから体を地面に打ち付け、頭蓋骨と左手、左手首を骨折、肺や胃に裂傷を負い、命の危険もあったそうです。それだけの大怪我をしても恐怖心は芽生えず、怪我をした時の動画をオンラインで公開して、「**転ぶこともある。でも立ち上がるのが大事**」と、メッセージを発信しました。

スカイ・ブラウン選手は、スケボーとサーフィンの二つのスポーツのプロアスリートです。すでにナイキなどのスポンサーも付き、YouTubeの登録者は世界で28万人以上いるそうです。スケボーとサーフィン以外にも、ダンスや歌を楽しみ、ギターの練習もして、毎日、忙しい日々を送っています。スカイ・ブラウン選手は朝日新聞のインタビューに「**人生は短い。色々なことをやらないと損だと思**う」と、語っています。先ほどのメッセージと合わせて言葉に込められた、チャレンジ精神と人生を前向きに楽しむもうとする意志に、大きな魅力を感じました。

毎日、特に目標もなく過ごしていると、本当に大切なことが、だんだん判らなくなってきました。生活すること、生きていくことが、日々の単なるルーティーンになってしまいます。13歳のポジティブさを見習い、日々を大切にしていきたいと思います。充実した2学期にしていきたいですね。

7月5日（月）、前週の木曜日に予定していたさわやかクリーン活動をようやく実施することができました。これはびわ湖の日（7月1日）に、滋賀県各地でびわ湖や地域をきれいにする活動が行われることに合わせたものです。本校でも、全校児童みんなで協力して学校をきれいにすることをねらいとして、校庭のゴミ拾いや草むしりをしました。この日も、雨の予報があり、少し早めにとりかかりましたが、やはり途中で激しい雨が降ってきました。

残念ながら中断することになりましたが、それでもどのクラスもバケツいっぱい草を集めていました。「もっとやりたかったあ。」という声があちこちで聞こえてきました。少しの時間でしたが、全校みんなで学校をきれいにし、気持ちがすっきりしたことと思います。



## 校外学習に行ってきました・・・4年生

7月6日（火）4年生が校外学習に行ってきました。午前中はクリーンセンターを見学しました。私たちが出すゴミがどのように処理されているのか、施設の中を見学しながら教えていただきました。自分たちにできることとして、所員さんからは、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を大切にほしいという話を聞きました。その中でも「ゴミを減らす（リデュース）」ことを一番に考えてほしいということを強調されました。ゴミを燃やすことにもエネルギーがかかります。限りある資源を無駄にしないためにも、市民みんなで心がけてほしいとのことでした。

午後は大津科学館へ行きました。展示室にはたくさんの実験コーナーがあり、みんな楽しみながら体験できました。プラネタリウムでは、今夜見える夜空を鑑賞しました。街の灯りが消えたときに現れた満天の星空に「おおー」「すごい！」と歓声があがりました。北斗七星や北極星、七夕の話など、星にまつわることをたくさん教えていただきました。「明日（7月7日）こそは晴れて夜空がみたいなあ・・・」そんな気持ちになりました。午前、午後ともに社会科、理科の学習として充実した学習となりました。



## 学校からお願い

## 給食エプロンの洗濯について

給食エプロンの洗濯につきまして、いつもご協力いただきありがとうございます。

なお、肌の弱いお子さんや、匂いに敏感なお子さんもいますので、**匂いの強い柔軟剤や漂白剤は使用せず、洗濯用洗剤のみで洗ってくださるとありがたいです。**

なお、アレルギー等が心配なお子さんにつきましては、**ご自宅からエプロン・帽子を持ってきて使っていただいてもかまいません。**その際は必ず記名をお願いします。

## 着衣泳・・・5, 6年生



水泳学習の最後に5、6年生が着衣泳を行いました。学習のねらいは「万が一、海や湖、川などでおぼれてしまったらどのように対処するのか身に付けよう。」です。

おぼれてしまう時は、服を着たままの場合も考えられます。そんなとき、慌てないで、力を抜いて「浮く」ということを集中的に練習しました。服を着たままでは、泳ぐことが難しいことや、身近にあるペットボトルを使って体力を使わずに自然に浮く体験を行いました。ペアの友だちに支えてもらいながら、ペットボトルを抱きかかえたり、背中につけたりして自分の浮きやすい浮き方を試していました。また、おぼれた際には服を脱いではいけないことや、むやみに暴れたり助けを呼ぼうと叫んではいけないことも学びました。おぼれた人を見つけた時は、ランドセルやバケツなどを投げ入れて浮く補助を行うことや、すぐに泳いで助けに行ってもいけないことも学びました。

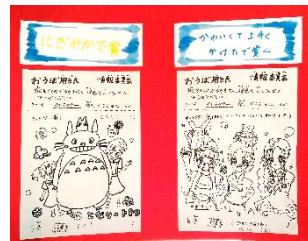
自然の怖さを十分に理解し、水辺の事故には十分気をつけてほしいと思います。

水泳学習へのご協力、ありがとうございました。コロナ禍の中、感染に留意しながら無事に学習を終えることができました。いつもは、学年単位で入水しているのですが、今年度は学級単位で指導を行いました。そのため、一人一人の活動時間が増え、いつも以上に泳力を伸ばすことができました。安全確保のため、複数体制で指導を行いましたが、個々の泳力に合わせて細やかな支援を行うこともできました。昨年度、水泳学習ができず、いきなり大プールに入った3年生も、泳ぐ楽しさを十分に味わうことができましたようです。コロナ禍で良かったことはほとんどない現状ですが、水泳学習に関しては、実りの多い1学期になりました。

## めざせ！お絵かきアーティスト！・・・情報委員会

情報委員会が「めざせ！お絵かきアーティスト！」という企画を考えました。まず、塗り絵の下絵の募集を行いました。テーマは「キャラクター」です。100人以上の応募があり、その中から各学年数枚ずつ情報委員会の子もたちが優れた作品を選びました。「かわいいで賞」や「アニメが見たくなるで賞」など、素敵な賞をとった作品が給食時間に発表されました。選ばれた作品は、職員室前に塗り絵として無料配布されました。職員室前は塗り絵を求めて大賑わい。高学年の描いた塗り絵を「かっこいい！」と嬉しそうにもらっていく低学年の子もたちの笑顔が印象的でした。

このような工夫した取組が、学校を活性化させ楽しい雰囲気を作ってくれますね。委員会活動の大切さを改めて感じました。



「家庭学習の習慣を身につけようウィーク」の成果

# 自主学大賞決定

6月7日（月）から11日（金）までの1週間、2年生以上で「家庭学習の習慣を身につけようウィーク」を行いました。自分で何の勉強をするかを決めて学習をする習慣を身につける取組になります。自分にどんな力をつけたいのか、そのためには何の学習に取り組むのか、具体的にカードに書き込みました。今年度は、各クラスからエントリーされた作品を各学年ごとに審査し自主学大賞を選びました。選ばれたノートを、全校児童の参考にしてもらうために職員室前に掲示しました。選考のポイントは字の丁寧さ、工夫、分かりやすさ、興味深さ（学習に結びついてる等）、めあてと振り返り（目的がはっきりしている）などです。3年生以上からのエントリーですが、選ばれた作品を見て、低学年の子どもたちも「やってみたい。」と目を輝かせて見入っていました。自主学大賞に選ばれたノートを何冊か紹介します。



草津市教育委員会からのお知らせ

## フリースクール授業料の支援を始めます

草津市フリースクール利用児童生徒支援補助金交付が、9月よりスタートします。ご家庭の収入に合わせて3段階で授業料が減額されます。申請方法等はホームページやチラシにも掲載されていますが、詳しいことは草津市教育委員会事務局児童生徒支援課(561-2437)までお問い合わせください。